

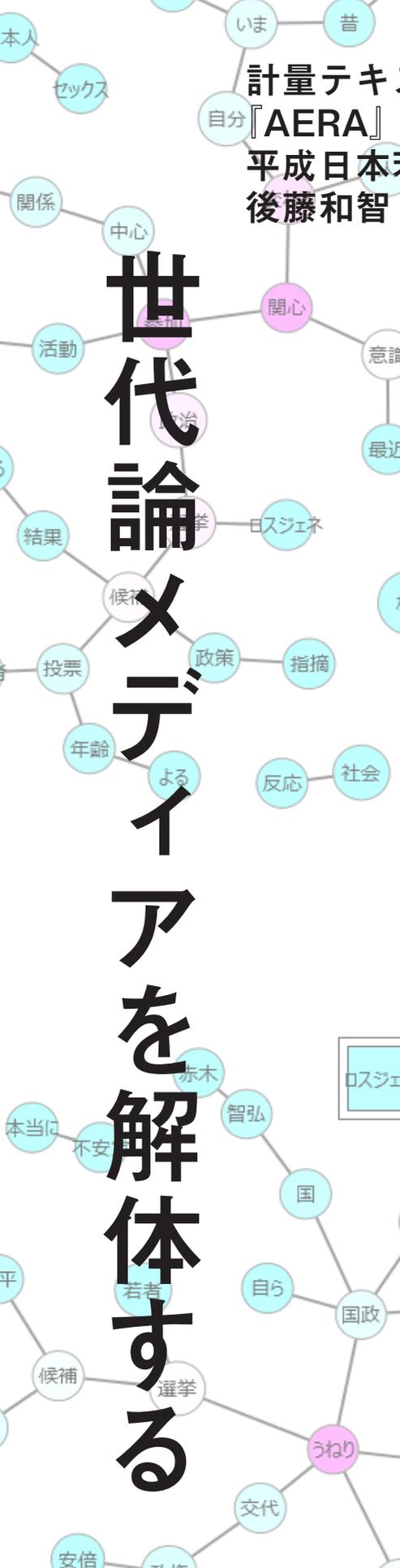
世代論メディアを解体する

計量テキスト分析による『AERA』世代論記事の解体
 平成日本若者論史 13
 後藤和智 (後藤和智事務所 OffLine)

年	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4
2010年	0.7792	1.0526	-1.9728	0.1613
2009年	0.2633	0.7033	0.3096	-1.8805
2008年	-2.1706	0.9853	-0.8968	2.4355
2007年	5.2352	-0.9292	-0.5020	
2006年	2.2532	-0.6827	-1.1988	1.5717
2005年	-0.4167	-0.0584	0.6488	0.1899
2004年	-0.53	0.5403	-0.7070	-1.2554
2003年	0.8022	-0.7072	-0.3079	-0.9845
2002年	0.8182	-0.0193	0.8831	0.1032
2001年	-0.4577	0.3967	1.6884	0.6278
	0.2471	0.2473	0.8482	-0.3066
	-0.2848	0.0294	0.6846	0.2603
	-0.3496	-0.1816	0.7814	0.5356
	0.2346	-0.2357	0.6806	0.3749

順位	主成分1		主成分2	
	単語	得点	単語	得点
1	島	7.1009	イスラム	4.1247
2	夫	5.0571	スマートフォン	4.0836
3	出産	4.9061	求人	2.4480
4	前半	4.0057	選挙	2.4133
5	後半	3.7444	研究	2.2943
6	家庭	3.4529	政治	1.9665
7	氷河期	2.9209	起業	1.8451
8	リーダー	2.9061	東大	1.8225
9	幸せ	2.8948	専門	1.8077
10	子育て	2.8212	教授	1.6232
11	子	2.4685	消費	1.4985
12	女子	2.2761	国	1.4838
13	妻	2.2694	正社員	1.4821
14	後輩	2.1538	市場	1.4673
15	楽しい	1.7577	日本	1.4165
16	勤務	1.7107	求める	1.4111
17	頭	1.6835	道	1.3503
18	結婚	1.6714	経済	1.2781
19	仕事	1.6478	調査	1.2506
20	子ども	1.5544	学生	1.2399
21	飲む	1.4713	ネット	1.2290
22	目標	1.4653	雇用	1.1923
23	最近活動	1.4621	意識	1.1673
24	同期	1.3754	ロスジェネ	1.1343
25	今年呼ぶ	1.3456	新しい	1.1329

順位	主成分1		主成分2	
	単語	得点	単語	得点
1	避難	-9.4536	避難	-19.1668
2	スマートフォン	-5.4284	母	-4.4038



世代論メディアを解体する..

計量テキスト分析による『AERA』世代論記事の解体

——平成日本若者論史13

著：後藤和智（後藤和智事務所Offline）

発行：2015年11月23日（第21回文学フリマ東京）

目次

はじめに 4

第1章 横断的な分析 5

1. 1 はじめに 5

1. 2 分析と手法 8

1. 3 分析対象とする指標とその分析結果 8

1. 3. 1 年・時期区分 8

第2章 記事個別の分析

1. 3. 2 世代区分	13
1. 3. 3 記者（クレジット）区分	15
1. 3. 4 タイトル区分	17
1. 3. 5 クラスター区分	19

2. 1 はじめに・分析の概要

22

2. 2 回帰分析の変数

22

2. 2. 1 分析の概要

22

2. 2. 2 記者区分

22

2. 2. 3 土井・村林区分

22

2. 3 各主成分の分析結果

23

2. 3. 1 第1主成分

23

2. 3. 2 第2主成分

27

2. 3. 3 第3主成分

28

2. 3. 4 第4主成分

28

2. 3. 5 第5主成分

29

はじめに

52冊目の同人誌となります。後藤和智です。今回は久しぶりにテキストマイニングを用いた同人誌になります（本当は去年の段階でテキストマイニングを強化すると言っていたのですが、全然強化していません…。これは反省せざるを得ないです）。今回は、テキストマイニングを用いて、世代論とは何かというものに迫ってみたいと思います。

改めてテキストマイニングの意義について説明すると、従来の評論・批評と呼ばれるジャンルは、特定の文章を評論する高位に対して、根拠を求められたときに弱いというものがあります。もちろん、政府や学者などによる統計や研究を用いた評論もありますが、大抵の文章は評論・評価する側の属人的な能力が優先し、評価の根拠が見えにくいという欠点があります。

これは「言説分析」と呼ばれるジャンルでも同様で、第一に「言説分析」という手法が定量的アプローチを避けるときの言い訳となってしまうというところが指摘されています（佐藤俊樹「國のありか——言説分析と「実証性」」佐藤俊樹、友枝俊雄・編『言説分析の可能性（社会学のアクチュアリティ…批判と創造・5）』（東信堂、2006年）pp.325。「批評」や「言説分析」がそのような隘路にはまってしまう中で、計量テキスト分析によって言説を解体するという行為は、評論というものに新たな可能性を与えてくれるものと信じております。このあたりの話は既に「新しい生き方」は誰のため？——平成日本若者論史12』（後藤和智事務所OfflineLine、2014年（コミティア110））や、『劣化言説の時代』のメディアと論客：言説と論客の「再帰性」をめぐる——平成日本若者論史Special』（後藤和智事務所OfflineLine、2015年（第20回文学フリマ東京））などで述べているのですが、

この点は強調してもしすぎることはないと思っております。

そして今回もまた、計量テキスト分析による若者論、世代論の分析を行おうと思えます。第1章で改めて述べますが、分析に用いるのは朝日新聞の週刊誌『AERA』です。『AERA』は一部のメディアで若い女性のライフスタイルを取り扱った週刊誌として採り上げられることがありますが（例えば、速水健朗「放射能から閉経まで 女性誌「アエラ」の研究」、『新潮45』2012年4月号、pp.88、新潮社、2012年4月）、私は『AERA』をそういった「女性誌」として見てしまうと、同誌の持つ特性の多くを見逃してしまうのではないかと思っております。

電子書籍で出した『ロスジェネ・メディアの世代認識——平成日本若者論史Plus1』（後藤和智事務所OfflineLine、2013年）及びそれを収録した『検証・格差論——2000年代の若年労働・経済言説を読み解く——平成日本若者論史Special2』（後藤和智事務所OfflineLine、2015年（コミックマーケット88））でも述べたように、同誌は1970年代〜1980年代初頭の団塊ジュニア世代、2007年頃からは「ロス・ジェネレーション」（ロスジェネ）と呼ばれる世代のライフスタイルについて多く採り上げるようになっております。特に2008年頃からは、この世代の「苦境」「不遇感」を強調する一方で、「可能性」「優秀さ」もまた強調する記事もまた出すようになり、また直上・直下の世代——直上の世代は「バブル世代」、直下の世代は「ゆとり世代」と呼ばれる——をバッシングするような記事も積極的に出しています。

このことから、私は『AERA』をロスジェネ・メディアとして再定義し、同誌がどのようにロスジェネ、そしてその直上直下の世代を描いているかを検討しました。詳しくは『検証・格差論』などを見て欲しいのですが、『AERA』をロスジェネ・メディアとして再定義することにより、既存の「女性誌」的な見方に晒されてきた『AERA』に新たな視点を提供できたのではないかと考えております。残念ながらそれほど多くの人に読まれてはいないようなのですが…。

しかし、同書で行った分析も、『AERA』の抱える特徴や問題点を定量的に示すことができたわけではありませんし、また『AERA』はひとりロスジェネのみを取り扱っているわけではなく、(本書で示すとおり、かなりの偏りはありますが)多くの世代を取り扱っています。特にロスジェネの直上にあたる「バブル世代」は、『AERA』を「女性誌」として定義する言説では中心的に採り上げられる世代です。『AERA』が世代論や特定の世代を採り上げた記事を積極的に出している中で、『AERA』にとつて各世代はどのような特徴をもって描き出されるのか、ということを探り上げることは、他のメディアにおける世代論を分析する場合にあたっても極めて重要な視点を提供してくれることでしょう。

また、本書の分析は、予備分析をいくつかツイッター上で「実況」しています。そのうち2011〜2014年の記事についてはサークルブログにまとめられています (<http://kazugototatenablog.com/entry/2015/10/16/174429>)。この段階の分析では、政治・経済に関する単語・記事とコミュニケーションに関するそれが対置されるものとして並び、また「世代」という単語の周囲には政治・経済関係の単語が関係づけられていることが観測されましたが、これが全体となるとどうなるのか、それは本編で明らかにしていこうかと思えます。

第1章 横断的な分析

1. 1 はじめに

まえがきでも述べたとおり、本書は世代論を一つのコンテンツとするメディアに焦点を当て、そのメディアにおいて世代論が展開されるときに、そこで採り上げる世代に対してどのようなまなざしを送るのかということについて、計量分析を通じて明らかにするものである。

本書で重視するのは、そのメディアがどの世代に向けて世代論を展開しているかということである。例えば『週刊現代』や『週刊ポスト』などの週刊誌は、一般的に中高年の男性向けの記事を掲載している(なお、近年では「セックス」特集が増加している)。それらのメディアにおいては、若年層に対しては批判的、場合によっては非難に近い視線を向けることが多い。例えば『週刊現代』が、所謂「新型うつ(病)」を採り上げたとき(2012年6月30日号)、それは若年層の甘えであるところか、近年の悪しき社会的風潮であるかのようになり、しかも「既存の」うつ病を経験した人に非難させるという結びでバッシングを行った(詳しくは、後藤和智『劣化言説の時代』のメディアと論客…言論と論客の再帰性をめぐって——平成日本若者論史Special 1(後藤和智事務所Of f Line, 2015年(第20回文学フリマ東京)第3章を参照されたい)。

本書で分析するのは、まえがきでも述べたとおり、朝日新聞社/朝日新聞出版の週刊誌『AERA』である。『AERA』を採り上げる理由は、比較的若い世代を対象読者層として想定していることにある。同誌のそのような編集方針は、同誌をめぐる言説に深く現れている。例えば、同誌が採り上げるような、若い女性の心理的な問題を「アエラ問題」として採り上げた中森明夫や

81	2004.08.05	若者は「自分探し」で自衛隊 人気急上昇の職場は再就職も有利	野呂雅之	2773
82	2004.08.02	サヨナラ恋愛競争社会 セカチュー世代の愛と性	内山洋紀	3238
83	2004.07.26	『69』が映す、あの頃と今 「安保」世代の青春ストーリー	中山治美	1104
84	2004.07.19	いま「職」は中国にあり 日本の若者吸い寄せ	井原圭子	2896
85	2004.06.14	拝啓、雅子さま いま幸せですか 同世代女性からの手紙	木村恵子	2352
86	2004.05.03	若者よ、セックスを嫌うな 自信喪失男と潔癖すぎる女	内山洋紀	3489
87	2004.04.12	バブル入社組、14年目の宿命 会社の中核になった不良格印世代	藤生明	5655
88	2003.12.29	ピンボー兄さん、金持ちめんちゃん 現代日本で進む若者の階層分化	宇都宮健太郎	2954
89	2003.10.27	ネットで募るルームシェア 他人といきなり同居する若者たち	足立葉穂子	1865
90	2003.10.06	南の島20代の生き方探し 沖縄で自分に向き合う若者たち	平岡妙子	1733
91	2003.07.14	30代の20代ストレス 「分からない」世代を指導する悩み	佐藤修史	3731
92	2003.07.14	一生ずっとフリーター可能なのか 第一世代は確らぶち	諸永裕司	2749
93	2003.03.24	「戦争反対」もウエブノリの日本若者たち	太田啓之	2004
94	2002.12.23	年金35歳「絶対損」世代 多く払って少なくなる	浜田秀夫	1843
95	2002.10.07	元気ないぞ！団塊Jr世代 オヤジたちほど自分を主張しきれない	宇都宮健太郎	2728
96	2002.09.02	若者は食事嫌い、だから食い 食事代わりに「いつでもお菓子」	古川雅子	2352
97	2002.08.12	ベンチャー支える50代 団塊世代フェニックス	片桐圭子	3350
98	2002.07.22	若者よ「孤独力」をつけよう 「ひとりぼっち」に耐えられない	大和久将志	2723
99	2002.07.15	「早婚」夢見る20代男性 結婚と子供に憧れるイマドキ若者	猪熊弘子	2771
100	2002.07.01	若者よ、「政治」しよう 行動派のユニークな組織が続々	天野一哉	2537
101	2002.06.17	無力な30代、焦りと暮らす 他人の動きが気になる世代	大和久将志	2545
102	2002.05.20	自信ないから攻撃するのか 催眠スプレーで武装する若者	宇都宮健太郎	1009
103	2002.05.20	逆ギレされない若者の叱り方 その傍若無人をなんとかしたい	伊藤隆太郎	2509
104	2002.02.25	ほめられない人々 生き残り本能が生むバブル世代の飢餓感	片桐圭子	2798
105	2001.08.27	ストレス弱者、30代の叫び 価値観転換期に悩む「弱い世代」	堀田浩一	2613
106	2001.08.27	幾つになっても美しく シニア世代に広がる美容整形	横田由美子	2155
107	2001.05.21	若者だけが働き過ぎ 20代女、30代男はIT化と人事の被害者	堀田浩一	2167
108	2001.02.19	「ご機嫌損ね」恐怖症 コスメティックな付き合いを好む若者の心理	諸永裕司	2868

(中森明夫「アエラ問題研究会(月刊ナカモリ効果・第35回)」、「噂の真相」1999年10月号)、速水健朗「速水健朗」放射能から閉経まで女性誌「アエラ」の研究」、「新潮45」2012年4月号、pp.86-92、新潮社、2012年4月)、桐山秀樹(「アエラ族」の憂鬱——「バリキャリ」女尊男卑」で女は幸せになったか「PIP」研究所、2009年9月)などは、『AERA』をバブル世代(1960年代末期～1970年代初期生まれ)向けの「女性誌」として規定し、同誌が描く女性像が果たして本当に女性を幸せにしたか、しているかについて述べている——この3者の著者が男性であるというのが気になるころではあるが。

一方筆者は、この3者が『AERA』をバブル世代向けの女性誌として規定したのに対し、同誌をその直下の世代、ポストバブル世代、もしくは後に「ロストジェネレーション」(ロスジェネ)と呼ばれる世代(1970年代半ば～1980年代初頭生まれ)の「生きづらさ」を描くと共に、その世代を肯定する雑誌として規定した(後藤和智『検証・格差論…2000年代の若年労働・経済言説を読み解く——平成日本若者論史Special2』後藤和智事務所 Off Line、2015年(コミックマーケット88))。同誌のポストバブル世代を肯定する言説については、その直上の世代であるバブル世代や、直下の世代——所謂「ゆとり世代」(1980年代半ば以降生まれ)——をバッシングするものもある。

比較的若い世代による世代論を検討することにより、そのメディアが自ら、そして直上直下の世代をどのように描いているかを検討することは、旧来の若者論、世代論をめぐる言説が「若者・子供」対「中高年」捉えられがちな世代論をめぐる状況に新たな視点を提供するものと確信している。

なお、今回は『AERA』単独の分析とし、他のメディア——例えば朝日新聞や、あるいは同じ朝日新聞社／朝日新聞出版の『週刊朝日』——との比較については行わなかった。

表1 分析に用いる記事

No.	掲載号	タイトル	著者（写真除く）	単語数
1	2014.12.15	家賃月10万円、払えないかも 後破産に怯えるバブル世代おひとり様	坂口さゆり	2387
2	2014.12.08	バブル世代は煩惱を捨て案に ポストも意欲もなく「お荷物」化	鎌田倫子	1241
3	2014.12.08	ハケン第一世代女子の不安と根拠なき自信 「生涯ハケン」時代を乗り切る	野村昌二	2359
4	2014.12.01	「その気持ち、わかる〜」 世代を超えて愛される竹内まりや	野村昌二	1258
5	2014.10.27	広告塔はイケメン戦士 渦中の学者が語るイスラム国と若者	野嶋剛	2371
6	2014.06.16	もう一度正社員を狙う 就職氷河期世代も子育て退職の主婦も	野村昌二、宮下直之	3269
7	2014.05.19	会議スマホ、それが何か 「スマホネイティブ世代」 v.s. 「ガラケー世代」	塩月由香	1282
8	2014.04.21	反論するとぶっつけ？ アエラの「オボカト世代」が代弁する“自己主張”の理由	金城珠代、井上和典、熊澤志保	1110
9	2014.03.24	「安倍政権」若者支持の幻想 距離をとり始めたロスジェネ	太田匡彦	2519
10	2014.02.10	新世代リケジョの衝撃 新型万能細胞作った小保方晴子さんの諦めない人生	小宮山亮磨、野中良祐	2162
11	2013.08.19	男の野心は削られる 東大卒バブル世代の20年	太田匡彦	3417
12	2013.05.13	生活水準は上げない 不況世代20、30代500人アンケート	大貫聡子、福井洋平	3079
13	2013.05.13	知らない相手と話したくない 携帯世代の電話恐怖症	甲斐さやか	2452
14	2012.12.31	「惨敗」からの再出発 ロスジェネの政治参加に急ブレーキ	太田匡彦	2779
15	2012.12.03	選挙で若者が大損する 投票者の平均年齢は57歳	山下努	1900
16	2012.06.04	「正義に無言」な平成新人の教育法 ゆとり世代は「まるで宇宙人!？」	金城珠代	2191
17	2012.04.23	パソコンはもう要らない 若者たちに見捨てられ	井上和典	909
18	2012.01.02	日本を立て直す100人 特集・2012年新世代を信じよう	太田匡彦	4996
19	2011.08.29	英「ロスジェネ」の反乱 日本人駐在員が住む住宅街でも放火や略奪	沢村亘	1077
20	2011.06.27	ボツ企画で「普通に」20% 「マルモのおきて」仕掛け人は氷河期世代	常井健一	1018
21	2011.05.02	避難所でリーダーになった 「見本の避難所」運営する若者たち	三橋麻子	5631
22	2011.02.28	トリレンマ世代の憂鬱 恐ろしすぎる老後が待ち受ける	山下努	1313
23	2010.10.11	オリープの島で暮らしたい 瀬戸内・小豆島に若者が集まる訳	野村昌二	3305
24	2010.06.21	「女」を超えた本格派 運動家、「必殺仕分け人」から均等法世代大臣へ	木村恵子	1132
25	2010.05.24	(働く女子のキモチ:5) 出産と仕事 不安すぎる世代の「産みどき」は?	木村恵子、小林明子	2945
26	2010.04.26	(働く女子のキモチ:3) 結婚と仕事 不器用世代が願う「新・専退社」	小林明子	3541
27	2010.04.19	夢と理想はビジネスで実現する 氷河期世代が目指す新しい野望の形	斉藤真紀子	3115
28	2010.04.12	(働く女子のキモチ:1) 氷河期世代のリーダー 氷河期の受難「なし崩しリーダー」	木村恵子、小林明子	3342
29	2010.02.15	がんばり世代、38歳の浮遊 自立してる。楽しい。でもさみしい	斉藤真紀子、伊東武彦	3655
30	2009.12.21	親マネーにすぎないロスジェネ 僕たちだって鳩山さんくらいいもらいたい	井上和典	1953
31	2009.12.07	僕たちにない生存能力 市橋容疑者とアラサー同世代の共感と反発	鈴木真磨	2071
32	2009.11.30	ナチス独裁に共感する若者 日本公開が相次ぐ背景	斉藤真紀子	2402
33	2009.11.09	父親世代「荷おろしうっ」 加藤和彦氏の自叙	大重史朗	2289
34	2009.10.19	もうロスジェネとは呼ばせない 失ったからこそ変えられる	澤田晃宏	3364
35	2009.09.28	未成年風俗嬢、プロフで求人 ケータイ世代の性が狂っていく	澤田晃宏	2623
36	2009.08.17	世代を超えた表現者として GACKTが語るGACKT	木村恵子	1440
37	2009.08.03	30歳が撮る未帰還兵 僕と同じ世代が体験した戦争	澤田晃宏	1010
38	2009.06.08	ロスジェネの怨みが暴発 氷河期と孤独で増幅する憎しみ	澤田晃宏	2956
39	2009.03.09	私は消しゴムになりたい あるロスジェネのつぶやき	野村美絵	1611
40	2009.02.23	祖父母世代に生き方を学ぶ 祖父母リスペクトの若者たち	野村昌二	1748
41	2008.12.29	ロスジェネがバブル超える日 現役世代それぞれの「10年後」	太田匡彦	5690
42	2008.12.29	世代間受益格差6500万円の溝 ロスジェネ〜バブル世代研究者も注目	土屋亮	1025
43	2008.11.17	「マイジェネ」は年金世代 「小僧の神様」ザ・フーもいまや…	大鹿靖明	913
44	2008.11.10	第2ロスジェネ、大発生する 就職氷河期がまたやって来る 株暴落時代	大波綾	3542
45	2008.10.20	破綻しても自分は大丈夫 ロスジェネ外資系社員	常井健一	2417
46	2008.07.14	のんびり楽しむ「まったく消費」 消費をしないオンリーワン世代	野村昌二	1879
47	2008.07.07	77歳とアキバの共通点 「暴走」は若者だけじゃない	藤生明	971
48	2008.06.23	大人免疫力が低すぎる 「売り手市場」のゆとり世代という新人種	大波綾	2795
49	2008.06.09	ロスジェネ「一発転身」 氷河期時代の幸を探し	木村恵子	3215
50	2008.06.09	(働く女性の20年:6) 次世代部下とのやる気ギャップ	坂口さゆり、三宅玲子、福山栄子、片桐圭子	4260
51	2008.03.17	東大卒の「人生格差」 バブル&ロスジェネなど100人の転職、年取…	太田匡彦、秋山伸子、福井洋平	3760
52	2008.02.11	ロスジェネ派遣の言い分 面倒は押しつけられ、残業は「カネかかると」文句	木村恵子	2662
53	2008.02.11	都会を抜け出し、週末は農村通い 団塊世代に人気の「クラインガルテン」	古川雅子	2926
54	2008.02.11	オバマ躍進を支える人 米版ロスジェネや「グーグル」リッチ世代	津山恵子、佐久間裕美子	2571
55	2008.01.21	あと1年の不遇感 ロスジェネとポスト・ロスジェネ	木村恵子	5568
56	2007.12.24	「宅飲み女」はロスジェネ女 飲み会の後でも、ブッシュ、グビツ……	斉藤泰生	3120
57	2007.12.10	均等法世代、40歳からの再デビュー もう一度働きたい	三宅玲子	3895
58	2007.12.03	「冬の時代」迎えた靖国 ポスト「戦争論」世代はそっぽ?	太田匡彦	3112
59	2007.10.29	ロスジェネって言うな 25〜35歳覆う不遇感格差	木村恵子、加藤美穂	4791
60	2007.10.22	しのびよる不安、親の老いが怖い 核家族育ち・晩婚世代の胸のうち	石臥薫子、三宅玲子、片桐圭子	3082
61	2007.07.09	母と娘「逆転介護」急増中 「雅子さま世代」の私たち	高橋淳子	2477
62	2007.07.09	「千の風」意外な使用方法 歌謡喫茶世代の連帯歌?	福井洋平、浜田奈美	1176
63	2007.02.19	もう一花咲かせたい 自覚めて立ち上がるバブル世代のキモチ	三宅玲子	3458
64	2006.12.11	バブル入社世代の孤独 群れへの違和感、部下との乖離	片桐圭子	3203
65	2006.12.11	ベンチャーの役員になりたい 氷河期世代のミドルリスク人生	後藤絵里	3813
66	2006.09.18	バブル世代は「馬鹿親」なのか 保育園、小学校父母の変質	三宅玲子	2138
67	2006.07.24	論壇に風穴あけるか オタク文化による創刊続く	内山洋紀	1042
68	2006.04.17	古田世代の部下伸ばし達人 個別対応のナビゲーション型	佐藤秀男	1760
69	2006.02.20	若者が惹かれる愛の老伝道師 強く自由に恋愛できないから	木村恵子	2393
70	2006.02.13	したい結婚したくない結婚 「これらが結婚」世代が踏みきれない理由	内山洋紀、木村恵子	5979
71	2005.12.19	若者のノンブア・コンプレックスの壁 「苦勞」語れなくて、ごめんさい階層社会	内山洋紀	2009
72	2005.11.14	「過呼吸」の先にある危機 若者に増えるパニック障害予備軍	浜田奈美	2093
73	2005.08.29	褒めあう若者、リスペクター 「同世代で気持ちよく」増殖中	横田由美子	1889
74	2005.08.25	「負け犬」よ、僕らを見くびるな 萌え世代の恋愛観	内山洋紀、福井洋平	2703
75	2005.08.15	若者がコンビニ離れ 誕生30年の異変	吉岡秀子	955
76	2005.05.02	若者「改進黨」の浮遊感 国会も腰砕け、当分は改正できない	河村克兵、平岡妙子	3636
77	2005.03.14	ライブドア・ホリエモンになりたい 若者支持、育ち方から学ぶ条件	各務滋	3062
78	2005.02.21	「30歳で成人式」がいい 自分探し世代が「オトナ」になるとき	内山洋紀	3205
79	2004.11.08	20代おおう「心はニート」 自信過小、自分探し世代の憂鬱	内山洋紀	2538
80	2004.09.20	雅子さま世代、壁乗り越える 40代になったらどうなるの	瀬川茂子、浜田奈美	3506

1. 2 分析と手法

分析手法として、計量テキスト分析を通じて『AERA』の世代論記事を分析するものとする。計量テキスト分析は、フリーソフトを使うことにより、環境さえ整えば多くの人が行うことができるようになっていく。本書では、計量テキスト分析用のフリーソフト「KHCoder」を用い、分析を行う。なお、「KHCoder」の仕様及び使い方については、開発者による下記の著作を参照されたい。

樋口耕一『社会調査のための計量テキスト分析——内容分析の継承と発展をめぐって』ナカニシヤ出版、2014年

分析に使うデータは、『AERA』の記事の内、以下の条件を満たすものを用いる。

- ・タイトルないしサブタイトル（『AERA』の記事にはタイトルとサブタイトルが全ての記事で設定されている）に「若者」「世代」「ジエネ」を含むもの。なお「ジエネ」とは、基本的に「ロスジエネ」というキーワードを拾うためのものである。
- ・記事の検索には、@niftyの新聞記事データベースを用い、このデータベースから取得できる記事を用いる。
- ・その中から、さらに世代論に関わりのある事象や文化を採り上げる記事を選定する。
- ・期間は同データベースによって正確な段落区切りの記事を取得できる2001年から、2014年までとする。
- ・なお記事については、本文及び写真・イラストのキャプションとし、アンケートの結果などは削除した。

これにより取得した記事が、表1に示す計108本の記事である。ここからフリーの形態素解析ソフト「MeCab」を用い、記事から単語を抽出する。

分析に用いる単語は、KHCoderでカウントできる自立語の内、自立語・付属語を含めた全体での占有率が15%となる、全体での出現回数が45以上の単語を用いる（表2）。単語については、同一の新聞社（ないしその子会社）の出版物のため記述は統一されていると考え、MeCabに登録する単語は、「ロストジェネレーション」「ロスト・ジェネレーション」「ロスジエネ」を「ロスジエネ」に、「スマートフォン」「スマホ」を「スマートフォン」に統一するという単語登録以外の登録は行わなかった。

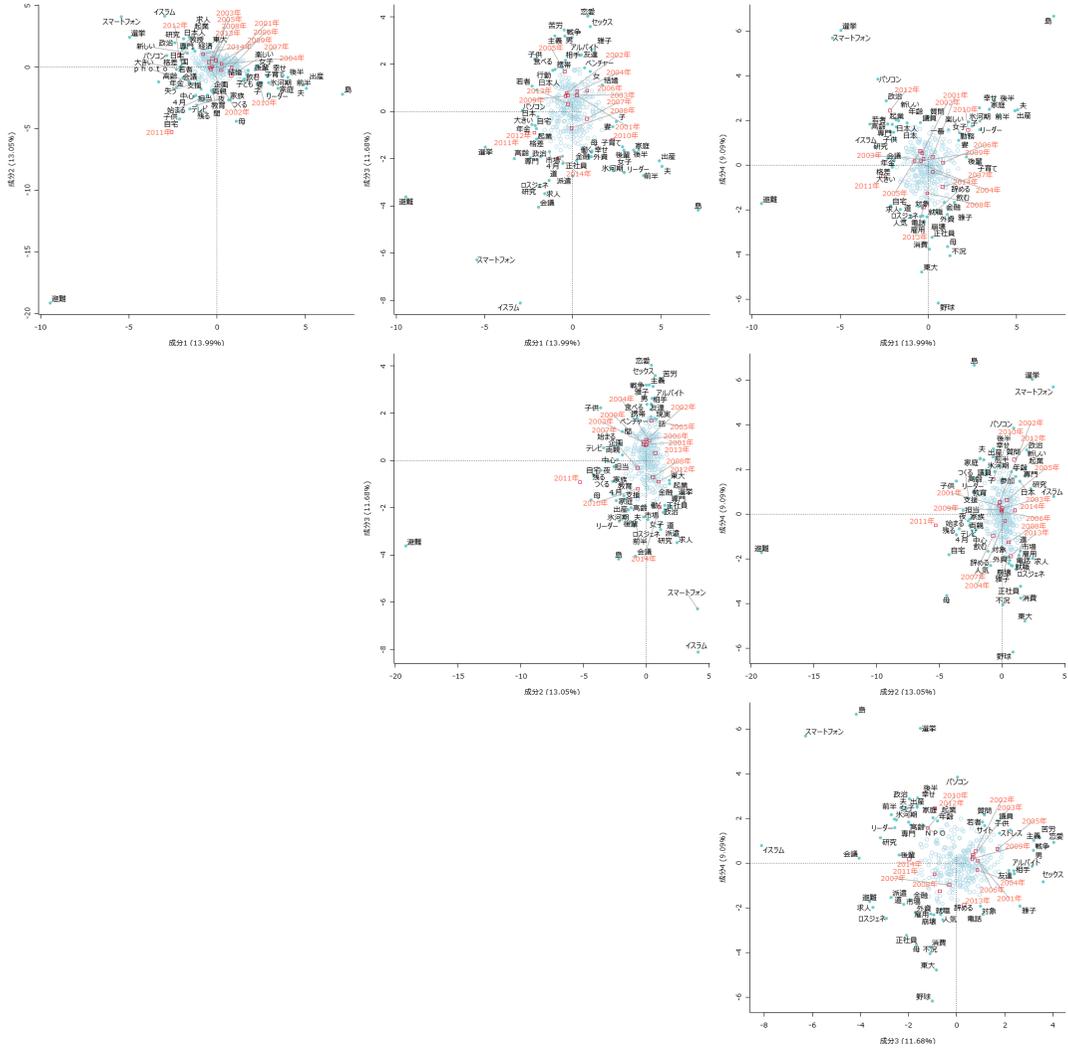
1. 3 分析対象とする指標とその分析結果

本書で用いる指標を示す。

1. 3. 1 年・時期区分

我が国の若者論・世代論は、年ごとに流行り廃りが存在する。本書の観測範囲である2000年代では、2000年代前半は、日本社会が「劣化」しているという言説が流行し、そのような認識に基づいた若者論も多数刊行されている（日本社会が「劣化」しているという言説全体の簡単な特徴については、浅岡隆裕『メディア表象の文化社会学——〈昭和〉イメージの生成と定着の研究』（ハーベスト社、2012年）の第10章第2節を参照されたい）。特に『AERA』の世代論を考える上で重要なのが、朝日新聞本紙が2007年に連載を行ったことを発端とする「ロス・ジェネレーション」（ロスジエネ）言説の構築である。この連載により、1975年～1982年生まれの世代が「割を食った」世代として採り上げられるようになり、そのような自己認識の下での文化・表現活動も目立った（その多くは自意識に閉じ、社会との接点を失い、中にはより下の世代に対するバッシングに走るものもある。詳しくは『検証・格差論』第9章を参照されたい）。

図1 年に対する対応分析結果



このことから、本書では、記事が発表された年のほか、下記のような時期区分を設定し、それに基づいて分析を行うことにする。とりわけ次章で行う予定の、記事個別の分析結果を用いた回帰分析については、年ではなくこの時期区分を用いて分析を行う。

第1期…「ロスジェネ」言説ないしそれに類する言説の登場前。2001年～2005年(38本)。

第2期…「ロスジェネ」言説ないしそれに類する言説により、「ロスジェネ」世代を中心とする「格差」が強調された時期。2006年～2010年(48本)。

第3期…第2期に構築された言説による認識が定着した時期。2011年～2014年(22本)。

分析には対応分析(コレスポネンダンス分析)を用いた(以下同じ)。年ごとの分析を見ると(表3)、最も寄与率が高い第1主成分は、第2期に該当する時期においてはプラスの方向に値が大きくなっており、第3期に相当する時期ではマイナスの方向に触れていることがわかる。プラスの方向に大きく作用している単語として、「夫」「家庭」「子育て」「妻」といった家庭関係の単語が挙げられる。マイナスの方向には、「選挙」「政治」「年金」などといった政治関係の言葉の他、「若者」「子供」もこちらの方向に触れている。「高齢」「高齢者」の中

表3 年ごとの対応分析結果

・寄与率

主成分	1	2	3	4	5	6
固有値	0.25914	0.25033	0.23677	0.20887	0.19704	0.18977
固有値 ²	0.06715	0.06266	0.05606	0.04363	0.03883	0.03601
寄与率	14.0%	13.1%	11.7%	9.1%	8.1%	7.5%
累積寄与率	14.0%	27.0%	38.7%	47.8%	55.9%	63.4%

・得点 (年)

	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4	主成分5	主成分6
2014年	-0.7792	1.0526	-1.9728	0.1613	-0.7535	1.1002
2013年	-0.2633	0.7033	0.3096	-1.8805	0.1070	-0.4007
2012年	-2.1706	0.9853	-0.8968	2.4355	0.9568	-1.5014
2011年	-2.5730	-5.2852	-0.9292	-0.5020	-0.8334	0.9858
2010年	2.2532	-0.6827	-1.1988	1.5717	0.1732	0.4334
2009年	-0.4167	-0.0584	0.6488	0.1899	1.4043	0.3720
2008年	-0.0653	0.5403	-0.7070	-1.2554	-0.2027	-0.2315
2007年	0.8022	-0.7072	-0.3079	-0.9845	1.7797	-1.2937
2006年	0.8182	-0.0193	0.8837	0.1032	-1.7944	-0.9157
2005年	-0.4577	0.3967	1.6884	0.6278	0.9907	0.9287
2004年	0.2471	0.2473	0.8482	-0.3066	-0.2404	1.8268
2003年	-0.2848	0.0294	0.6846	0.2603	0.3030	0.1942
2002年	-0.3496	-0.1816	0.7814	0.5356	-1.1691	-1.2872
2001年	0.2346	-0.2357	0.6806	0.3749	-0.3600	0.4234

・得点 (単語)

順位	主成分1		主成分2		主成分3		主成分4		主成分5		主成分6	
	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点
1	鳥	7.1009	イスラム	4.1247	恋愛	4.0306	鳥	6.6538	母	5.9591	セックス	6.5148
2	夫	5.0571	スマートフォン	4.0836	セックス	3.5924	選挙	6.0216	戦争	4.7974	雅子	6.2223
3	出産	4.9061	求人	2.4480	苦勞	3.4463	スマートフォン	5.6825	両親	3.5746	イスラム	5.7037
4	前半	4.0057	選挙	2.4133	主義	3.1973	パソコン	3.8405	事件	3.2008	遊離	4.6538
5	後半	3.7444	研究	2.2943	戦争	3.1887	後半	2.9130	映画	2.7927	ストレス	4.0174
6	家庭	3.4529	政治	1.9665	男	3.1311	政治	2.8685	当時	2.7404	危機	3.1978
7	氷河期	2.9209	起業	1.8451	雅子	2.6268	幸せ	2.5538	高校	2.7196	日本人	3.1457
8	リーダー	2.9061	東大	1.8225	相手	2.3904	家庭	2.4927	苦勞	2.6749	苦勞	2.5412
9	幸せ	2.8948	専門	1.8077	友達	2.3745	夫	2.4708	不況	2.5884	恋愛	2.3873
10	子育て	2.8212	教授	1.6232	子供	2.2280	出産	2.4253	飲む	2.4309	会議	2.3653
11	子	2.4685	消費	1.4985	アルバイト	2.1634	前半	2.1581	アルバイト	2.3489	現実	2.3558
12	女子	2.2761	国	1.4838	食べる	1.8677	質問	2.1536	期待	2.1200	映画	2.2934
13	妻	2.2694	正社員	1.4821	ベンチャー	1.8463	起業	2.0245	野球	2.1107	担当	2.1673
14	後輩	2.1538	市場	1.4673	悩み	1.7815	新しい	1.9823	声	2.0564	労働	2.0469
15	楽しい	1.7577	日本	1.4165	ストレス	1.7801	氷河期	1.9647	サイト	2.0424	サイト	1.9906
16	勤務	1.7107	求める	1.4111	ほとんど	1.7774	女子	1.9277	選挙	2.0080	鳥	1.9255
17	頭	1.6835	道	1.3503	携帯	1.7760	議員	1.8949	体験	1.9416	対象	1.8657
18	結婚	1.6714	経済	1.2781	現実	1.7709	年齢	1.8823	格差	1.7759	自信	1.8615
19	仕事	1.6478	調査	1.2506	話	1.7527	若者	1.8352	男	1.7745	楽しい	1.8049
20	子ども	1.5544	学生	1.2399	行動	1.7367	高齢	1.8289	NPO	1.7192	男	1.7482
21	飲む	1.4713	ネット	1.2290	言葉	1.7147	日本人	1.8202	戻る	1.6887	研究	1.7020
22	目標	1.4653	雇用	1.1923	議員	1.6965	子	1.7436	頭	1.6737	現在	1.6429
23	最近	1.4621	意識	1.1673	女	1.6941	専門	1.7010	リーダー	1.6633	課長	1.6411
24	同期	1.3754	ロスジェネ	1.1343	好き	1.5982	参加	1.6785	高齢	1.6441	自由	1.5699
25	今年	1.3456	新しい	1.1329	団塊	1.5744	サイト	1.6715	友達	1.6424	管理	1.5632

順位	主成分1		主成分2		主成分3		主成分4		主成分5		主成分6	
	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点	単語	得点
1	遊離	-9.4536	遊離	-19.1668	イスラム	-8.1120	野球	-6.1706	部下	-4.7629	選挙	-4.6912
2	スマートフォン	-5.4284	母	-4.4038	スマートフォン	-6.2826	東大	-4.7821	ベンチャー	-4.5539	母	-4.2037
3	選挙	-4.9558	自宅	-4.2230	鳥	-4.1740	不況	-4.0535	子供	-4.2287	議員	-3.7661
4	高齢	-3.3131	子供	-3.6408	会議	-4.0553	消費	-3.7589	年収	-3.9863	飲む	-3.7421
5	イスラム	-2.9696	残る	-3.6214	遊離	-3.6203	母	-3.6474	年金	-3.8281	起業	-3.4356
6	パソコン	-2.8573	テレビ	-3.3998	求人	-3.4819	正社員	-3.2317	イスラム	-3.7189	ベンチャー	-3.4043
7	政治	-2.3883	夜	-3.0924	研究	-3.1680	崩壊	-2.5395	遊離	-3.6682	団塊	-3.3057
8	年金	-2.3091	家族	-2.6888	ロスジェネ	-2.9211	ロスジェネ	-2.4704	経営	-3.5285	野球	-3.0555
9	若者	-2.3034	つくる	-2.6572	派遣	-2.7316	就職	-2.3161	議員	-3.0676	食べる	-2.8203
10	子供	-2.1435	担当	-2.5830	前半	-2.7185	人気	-2.2993	保険	-2.8249	パソコン	-2.6718
11	自宅	-2.1261	始まる	-2.5605	氷河期	-2.5869	電話	-2.2960	課長	-2.7613	部下	-2.5606
12	大きい	-2.0568	4月	-2.3987	リーダー	-2.5759	雇用	-2.2756	結婚	-2.5641	不況	-2.5461
13	日本人	-2.0453	中心	-2.3068	女子	-2.5062	外資	-2.2105	同期	-2.5365	経営	-2.4707
14	格差	-2.0452	教育	-2.2789	後輩	-2.3929	辞める	-2.0726	一つ	-2.3416	子供	-2.1857
15	日本	-1.9678	鳥	-2.2121	夫	-2.3288	求人	-1.9839	会議	-2.2882	保険	-2.1389
16	会議	-1.9368	リーダー	-1.9250	道	-2.2031	対象	-1.9250	相手	-2.1159	家	-2.0688
17	研究	-1.8969	両親	-2.0630	出産	-2.0921	雅子	-1.9232	求人	-2.0569	多く	-2.0479
18	起業	-1.8379	企画	-1.9099	正社員	-2.0681	道	-1.8481	入社	-2.0450	制度	-2.0448
19	専門	-1.8156	間	-1.9094	高齢	-2.0014	自宅	-1.8176	団塊	-2.0424	社長	-1.9190
20	教授	-1.7949	支援	-1.7881	政治	-1.9656	管理	-1.7496	メール	-2.0344	格差	-1.9011
21	新しい	-1.6894	夫	-1.7363	金融	-1.9263	遊離	-1.7217	目標	-2.0072	年収	-1.9009
22	photo	-1.5977	家庭	-1.7342	働く	-1.9172	金融	-1.6747	契約	-1.8902	実家	-1.8665
23	求人	-1.5869	戻る	-1.6704	専門	-1.9157	飲む	-1.6669	恋愛	-1.8429	事業	-1.8494
24	テレビ	-1.5402	年金	-1.6532	市場	-1.9003	採用	-1.6599	悩み	-1.7854	高齢	-1.8439
25	指摘	-1.3919	家	-1.6156	外資	-1.7272	市場	-1.6511	上司	-1.7179	戻る	-1.8182